

# News Release

## プレスリリース

### お問い合わせ先

コミュニケーションズ

Eメール：[JPNwebmaster@nielsen.com](mailto:JPNwebmaster@nielsen.com)

電話：03-5798-9353

ファックス：03-5798-9441

### ～肌の「全体的な」乾燥が気になるのは50代男性が最多～

#### ニールセン ジャパン 乾燥肌に関する調査結果を発表

- 混合肌ではなく、全体的に乾燥する「乾燥肌」と答えた割合がもっとも高いのは「50代男性」(図1-A)
  - しかし病院を受診するほど深刻だととらえず、市販の薬で治す傾向あり(図1-B)
  - 乾燥肌対策にはお金をかけていないものの、今シーズンは「もっとお金をかけてもよい」(図1-C)
- 乾燥肌に悩んでも、病院を受診する人は非常に少ない(男性：11%、女性：12%)(図1-B-1)
  - 理由は、「病院に行くほど重い症状でない」が男女ともトップ。(図2)
  - 実際の対策は、男性は「市販の薬を使用」(45%)、女性は「化粧品を使用」(70%)がトップ(図1-B-1)
- 女性は乾燥肌の「日常生活の注意点」を知りたい傾向が高い(図3-1)
  - いっぽう、男女とも40代以降は年代があがるほど「特に知りたいことはない」人が増加(図3-2)
- 購入経緯(図4)  
男女とも「店頭で見つけた」が最多だが、女性は「インターネット経由」も多い(39%)

2011年12月14日 - 東京発：ニールセン・カンパニー合同会社(本社：港区白金台 / 職務執行者 シンディ・シン)は、乾燥肌に関する調査結果を発表しました。

「今回の乾燥肌調査では、混合肌(小鼻やおでこなどは脂性であるいっぽう、頬は乾燥するなど、脂性肌と乾燥肌が混在している)ではなく、乾燥肌(全体的に乾燥してしまう)に悩んでいる、と答えたのは『50代男性』がもっとも多い、という結果となりました。現在、彼らは乾燥肌対策にお金をそれほどかけていませんが、今シーズンにはもっとお金をかけてもよいとこたえるなど、対策したいという意向は感じられます。

また、全体として、乾燥肌に悩んでいても病院を受診する人は少なく、その主な理由は『病院に行くほど重い症状ではない』であることから、軽い症状であるか、あるいは、どの程度であれば病院に行くべきなのかその基準が分かっていない、という可能性があります。

この疾患では、病院の利用よりも、『市販薬/化粧品』がメインの領域になっているようです。乾燥肌対策を見ても、男性は『市販薬』、女性は『化粧品』という傾向の差はあるものの、男性でも4割が『化粧品』を使用している結果でした。そして今シーズン冬の対処予定としても、その傾向は変わらない結果となっています。したがって、男性も『化粧品』マーケットでの重要なターゲットになる可能性があると考えられます。

さらに、乾燥肌について知りたい情報は、40代以降減少傾向にあります。40代以降のターゲットに対しては、まずは興味喚起をすることからはじめる必要があります。

最後に、乾燥肌対策のための『市販薬/化粧品』の購入については、男女とも『店頭で見つけた』うえでの購入が最も多いですが、女性では、『インターネット』をきっかけに購入に至った割合が男性に比べて多くなっています。したがって、インターネット経由でのプロモーション活動においては、女性患者を意識した活動が、より効果的ではないかと予想されます。」（ニールセン ジャパン、コンシューマー・リサーチ（メディテック）、リサーチ・エグゼクティブ 里吉貴浩）

乾燥肌に関する調査の、おもな結果は以下のとおりです。

#### ■乾燥のタイプ-全体的な肌の乾燥に悩んでいるのは「50代男性」（図1-A）

肌の乾燥のタイプを聞いたところ、「乾燥肌」（全体的に乾燥する）だと答えた割合が最も高かった「50代男性」（図1-A）ですが、病院を受診せず、市販薬を使用する傾向にあります。（図1-B）いっぽう、昨シーズンと今シーズンに乾燥肌対策に使用した（使用予定の）費用を比べると、昨シーズンより今シーズンのほうがかける（予定の）費用は高くなっています。（図1-C）

#### ■乾燥肌に悩んでも、病院を受診する人は非常に少ない（図1-B-1）

昨シーズン冬、「乾燥肌のために、病院を受診はしなかった人」に対し、その理由を聞くと、「病院に行くほど症状が重くない」（男性：68%、女性：73%）が男女とも最も高い数値となりました。

（図2）実際の対策としては、男性は「市販の薬を使用」（45%）、女性は「化粧品を使用」（70%）がもっとも多くなっています。（図1-B-1）

#### ■女性は乾燥肌の「日常生活の注意点」を知りたい傾向が高い。（図3-1）

乾燥肌についてもっと知りたい情報があるか聞きました。すると、女性では「日常生活の注意点」（61%）、男性では「乾燥肌の原因」（51%）がそれぞれ最も多い結果となりました。しかし、40代以降は男女とも「特に知りたいことはない」が1~3割程度おり、無関心である人も少なくないようです。（図3-2）

#### ■乾燥肌対策の市販薬や化粧品の購入経緯（図4）

昨シーズン冬、乾燥肌対策として使用した市販薬や化粧品をどのような経緯で購入したか、を聞くと、男女とも「店頭で見つけた」が最も高かった（男性：76%、女性：53%）ですが、女性の場合、インターネット経由（39%）も多い結果となっています。

### ニールセン 乾燥肌に関する調査について

ニールセン 乾燥肌に関する調査は、2011年11月28日~2011年11月30日まで、日本全国に在住の、「乾燥肌を自覚し、昨シーズン冬に何かしら対策を実施した患者」男女（15歳から59歳まで）各100名を対象に、インターネットで実施いたしました。

### ニールセン ジャパン メディテック (Meditech) について

メディテックチームは、医療分野に特化した調査を実施しており、今回のような患者（疾患保有者）

調査の他、約13万人の医師パネルを用いた、医師調査の経験も豊富に有します。

調査テーマとして、例えば、今回の調査でセグメント特性が明らかになった「50代男性」の乾燥肌マーケットに対しての、「市場規模予測」「製品評価」「消費量変化の予測」「ブランド力測定」など、多様なテーマについて、マーケティング課題解決のためのインサイトを提供しています。

また、定量調査・定性調査の両手法による、多角的なアプローチが可能です。

### ニールセンについて

ニールセン・ホールディングス N.V. は世界的な情報・メディア企業で、マーケティング及び消費者情報、テレビ等のメディア情報、オンライン情報、モバイル情報、トレードショーやそれに関連した分野でリーダー的地位を確立しています。アメリカ・ニューヨークとオランダ・ディーンに本社を持ち、世界 100 カ国以上でビジネスを展開しています。詳細は、ホームページ ([www.nielsen.com](http://www.nielsen.com)) をご覧ください。

図 1-A：乾燥のタイプ（回答はひとつだけ）

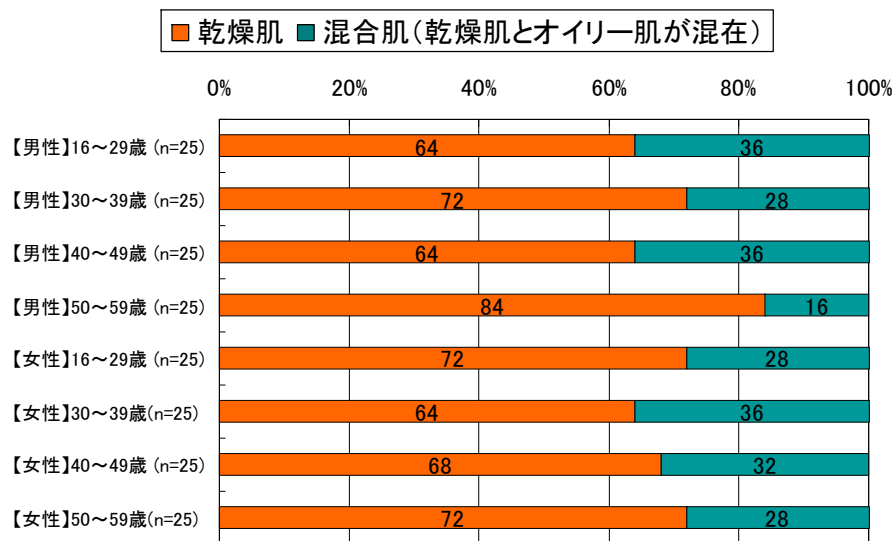


図 1-B：昨シーズン冬に乾燥肌対策として実施したこと（回答はいくつでも）

(%)

	病院を受診した	市販の薬を使用した	化粧品を使用した	サプリメントを使用した	加湿器を使用した	その他
【男性】15～29歳 (n=25)	8	52	40	28	36	0
【男性】30～39歳 (n=25)	8	44	44	16	36	4
【男性】40～49歳 (n=25)	24	20	44	4	36	4
【男性】50～59歳 (n=25)	4	64	32	0	32	4
【女性】15～29歳 (n=25)	12	28	80	20	40	8
【女性】30～39歳 (n=25)	12	28	68	8	44	4
【女性】40～49歳 (n=25)	16	36	56	24	20	4
【女性】50～59歳 (n=25)	8	36	76	4	32	0

図 1-B-1 : 昨シーズン冬に乾燥肌対策として実施したこと (回答はいくつでも)

(%)

	病院を受診した	市販の薬を使用した	化粧品を使用した	サプリメントを使用した	加湿器を使用した	その他
男性 (n=100)	11	45	40	12	35	3
女性 (n=100)	12	32	70	14	34	4

図 1-C: 昨シーズン冬と今シーズン冬に、乾燥肌対策に使った (使う予定の) 平均金額

(円)

	昨シーズン冬	今シーズン冬
【男性】16~29歳	2,020	2,438
【男性】30~39歳	3,120	2,818
【男性】40~49歳	3,440	2,792
【男性】50~59歳	2,120	2,565
【女性】16~29歳	3,460	3,455
【女性】30~39歳	4,720	4,261
【女性】40~49歳	2,980	3,095
【女性】50~59歳	4,320	4,229

(参考) n 数

	昨シーズン冬	今シーズン冬
【男性】16~29歳	25	24
【男性】30~39歳	25	22
【男性】40~49歳	25	24
【男性】50~59歳	25	23
【女性】16~29歳	25	22
【女性】30~39歳	25	23
【女性】40~49歳	25	21
【女性】50~59歳	25	24

以下の基準で算出

- ※ 1000円未満→500円
- ※ 1000~3000円未満→2000円
- ※ 3000~5000円未満→4000円
- ※ 5000~10000円未満→7500円
- ※ 10000円以上→12000円

図 2: 昨シーズン冬、乾燥肌が理由で病院を受診「しなかった」理由 (回答はいくつでも)

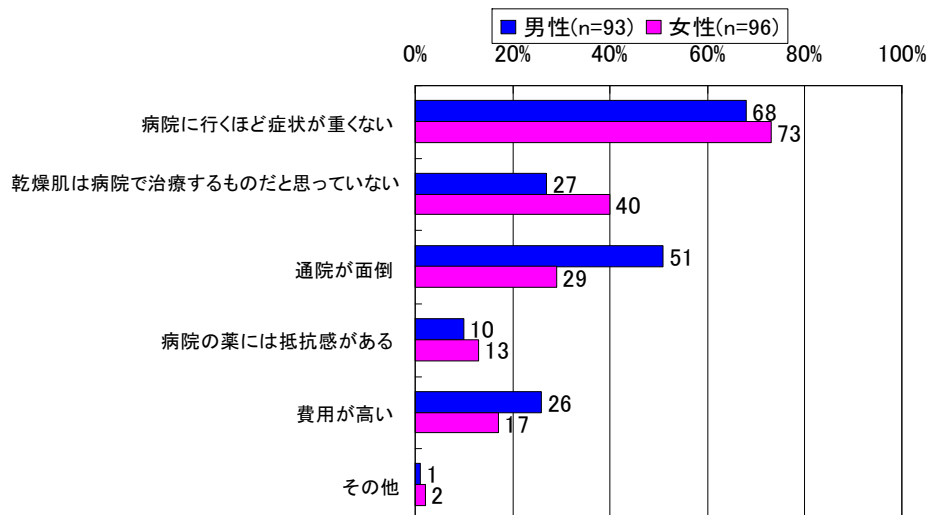


図 3-1：乾燥肌についてもっと知りたい内容（回答はいくつでも）

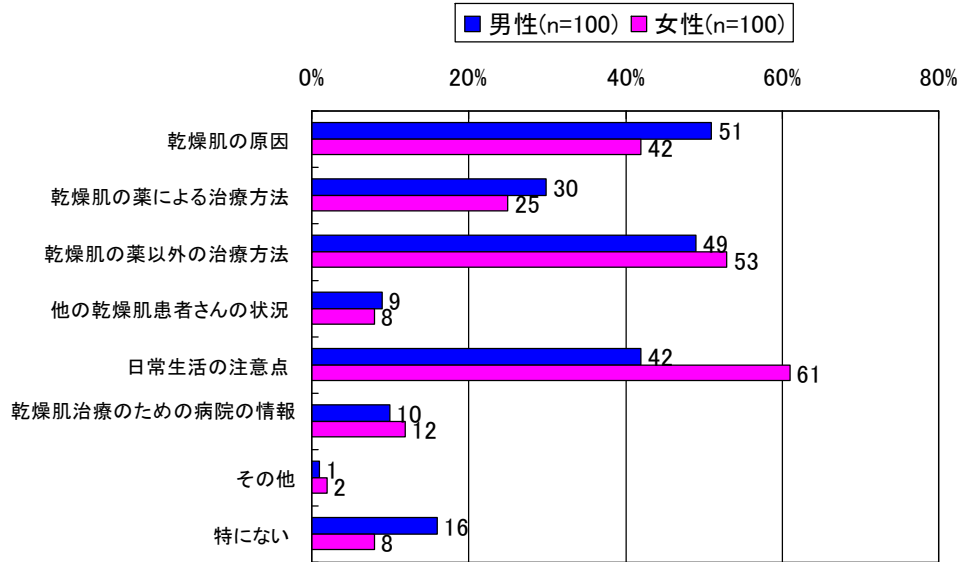


図 3-2：もっと知りたい内容が「特にない」の回答割合

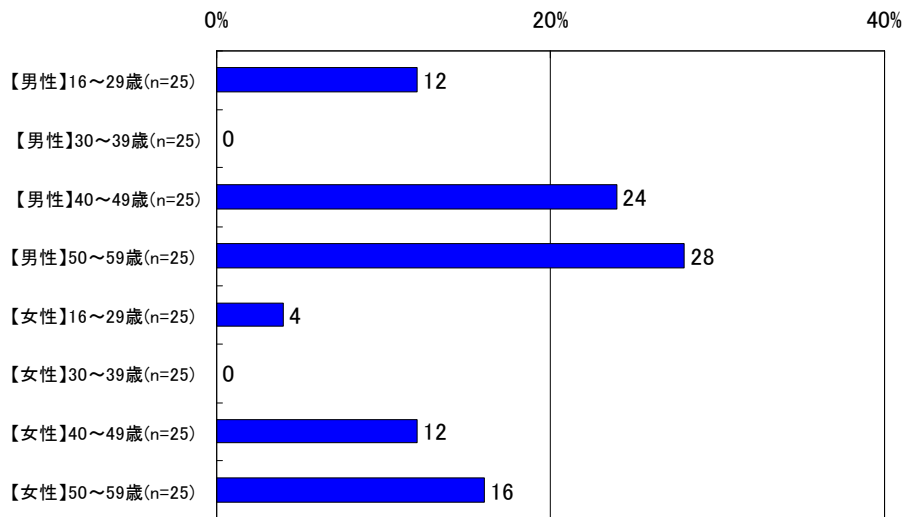


図4：乾燥肌対策の市販薬や化粧品の購入経緯（回答はいくつでも）

